

施策別（戸別収集、家庭ごみ有料）のごみ量変化

1 戸別収集

(1) 自治体名

国分寺市

人口は117,773人(平成22年10月1日現在、外国人登録者数含む)

(2) 開始時期

平成19年1月15日から戸別収集を開始した。

(3) 収集形態

ごみの内、「もやせるごみ、もやせないごみ、有害ごみ」の収集は委託で、「粗大ごみ」は直営で実施している。

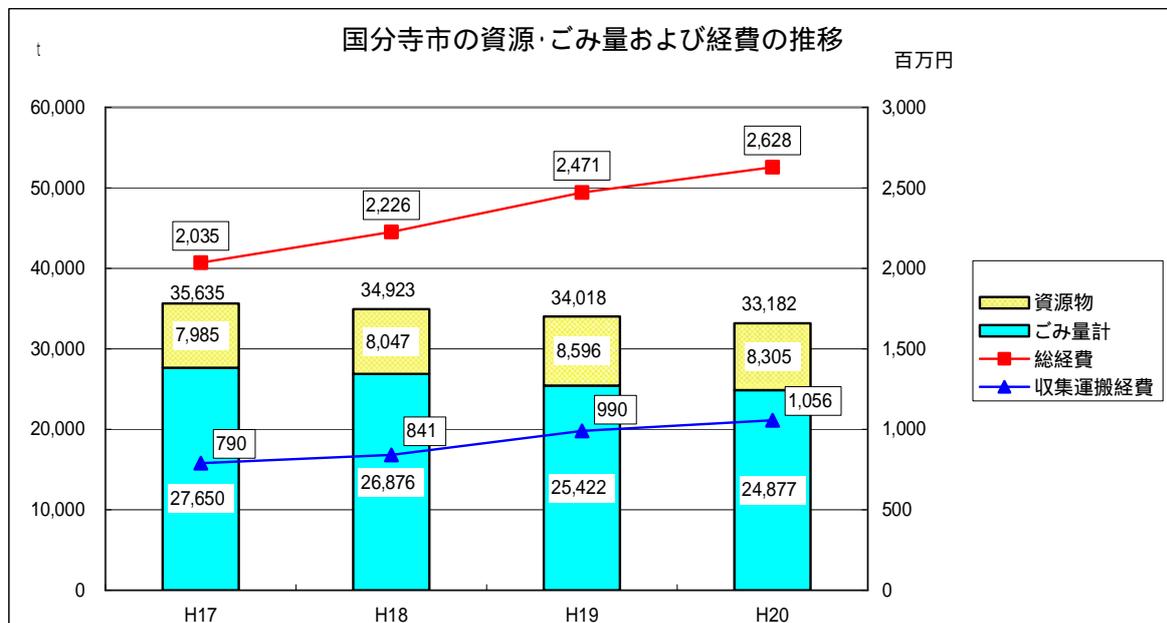
また、資源は「紙・衣類、ビン・カン、ペットボトル、プラスチック」を回収しており、ペットボトル以外は委託となっている。

(4) 実施前後の経費比較

平成18年度と20年度の収集運搬費を比較すると841百万円から1,056百万円で約25%の増加になっている。

(5) 資源・ごみ量の推移

平成20年度は18年度と比較するとごみ量は約7.4%減少し、資源量は約3.2%増加した。



出典：国分寺市一般廃棄物処理基本計画およびごみ減量化・資源化行動実施計画

2 家庭ごみ有料

(1) 自治体名

新潟県上越市

人口は 206,568 人(平成 22 年 10 月 1 日現在、外国人登録者数含む)

(2) 開始時期

平成 20 年 4 月から家庭ごみの有料化を開始した。

有料化の対象品目は「可燃ごみ、不燃ごみ、生ごみ」で、収集方法はステーション方式である。

(3) 収集形態

「燃やせるごみ、燃やせないごみ、資源物」の収集・運搬は委託で実施している。

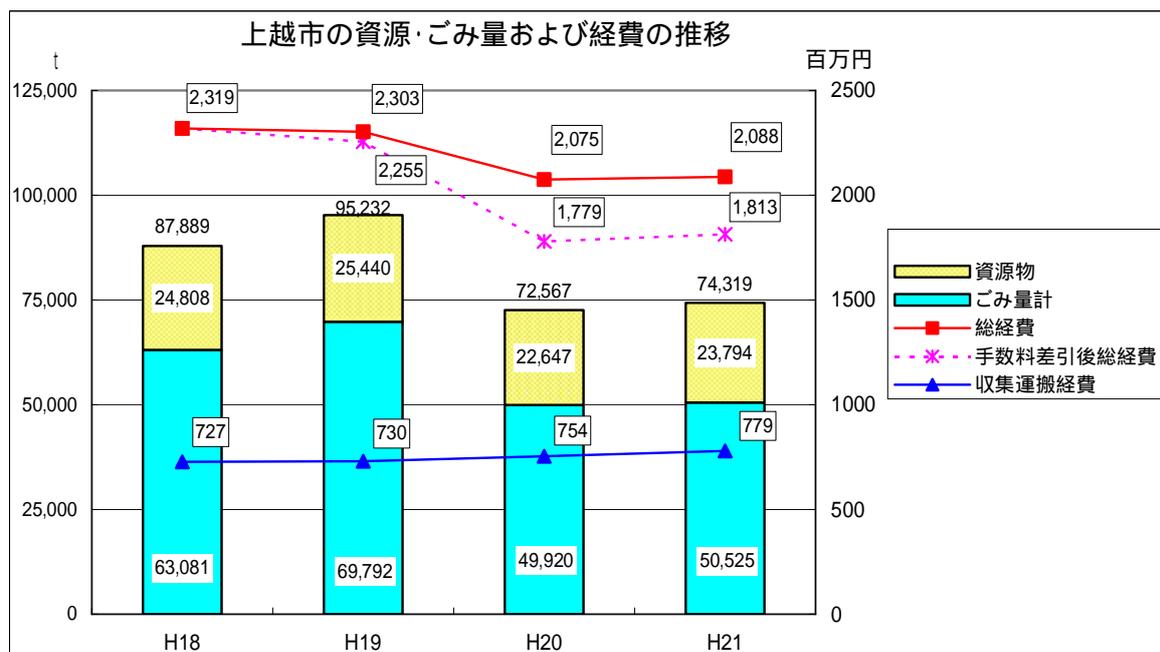
(4) 実施前後の経費比較

平成 19 年度と 21 年度の家庭ごみの処理費用の合計で比較すると 2,303 百万円から 2,088 百万円で約 9.3%に減少した。

収集運搬経費の比較では、それぞれ 730 百万円と 779 百万円となっている。なお、平成 21 年度に生ごみ収集区域を拡大している。

(5) 資源・ごみの推移

平成 20 年度は、前年度と比較するとごみ量は約 28.5%減少し、資源量は約 11%減少した。



出典：上越市一般廃棄物処理基本計画および上越市ごみ減量市民運動実行委員会会議録

3 戸別収集と家庭ごみ有料

(1) 自治体名

西東京市

人口は 195,305 人(平成 22 年 10 月 1 日現在、外国人登録者数含む)

(2) 開始時期

平成 19 年 9 月から戸別収集、平成 19 年 10 月からプラスチック容器包装類、金属類などの分別収集、平成 20 年 1 月から「可燃ごみ、不燃ごみ、プラスチック容器包装類」の有料化を開始した。

(3) 収集形態

「可燃ごみ、不燃ごみ、プラスチック容器包装類」の収集・運搬は委託で実施している。

また、資源は「古紙、古布」は委託で、「びん、缶、ペットボトル、スプレー缶、ライター、廃食用油、金属類」は直営で回収している。

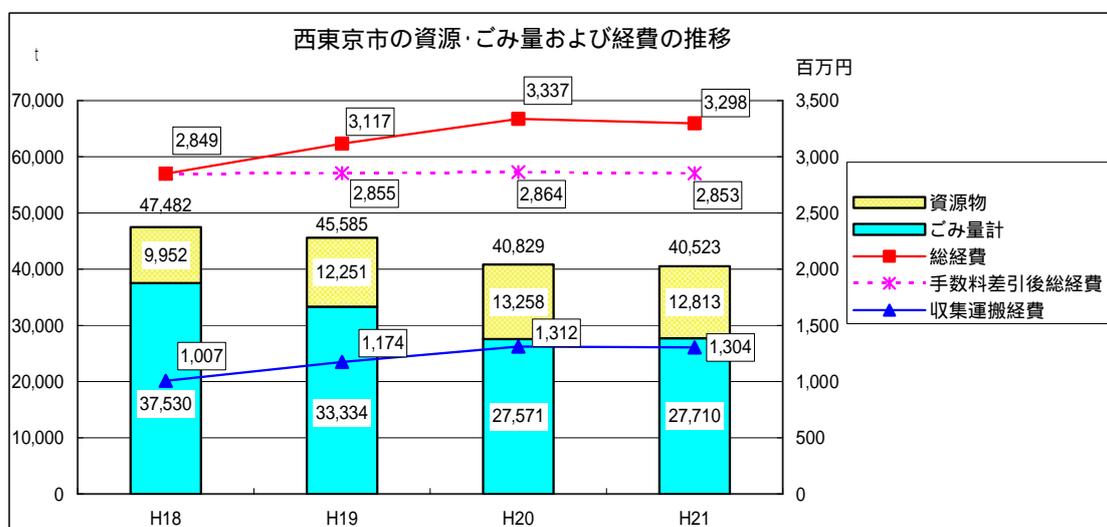
(4) 実施前後の経費比較

平成 18 年度と平成 21 年度の収集運搬経費を比較すると、1,007 百万円から 1,304 百万円と 29.5%の増加になっている。

増加分には、プラスチック製容器包装類(199 百万円)、金属類などの新たに分別回収した収集運搬経費も含まれている。

(5) 資源・ごみ量の推移

平成 21 年度は、平成 18 年度と比較するとごみ量で約 26.2%減少し、資源量は約 28.8%増加した。



平成20年度の収集運搬経費にはプラスチック製容器包装類等の収集運搬経費(200百万円)を含む
平成21年度の収集運搬経費にはプラスチック製容器包装類等の収集運搬経費(199百万円)を含む

出典：西東京市作成資料

4 未実施

(1) 自治体名

練馬区

人口は 707,981 人(平成 22 年 10 月 1 日現在、外国人登録者数含む)

(2) 収集形態

「可燃ごみ、不燃ごみ、古紙・紙パック」の収集・運搬は直営で実施している。

資源は「容器包装プラスチック、びん、缶、ペットボトル、廃食用油、古布、乾電池」を回収しており、委託で実施している。

(3) 収集運搬経費

平成 21 年度の総経費は、10,138 百万円である。

また、収集運搬経費は、5,376 百万円である。

(4) 資源・ごみ量の推移

平成 21 年度は、前年度と比較するとごみ量で約 4.7%減少し、資源は約 8.8%増加した。

